

第66回NHK杯全国高校放送コンテスト山梨県大会実施要項

- 主催 山梨県高等学校文化連盟放送専門部 NHK甲府放送局
後援 山梨県教育委員会 山梨県高等学校教育研究会教育情報・視聴覚部会
- 目的 現代に生きる高校生の豊かな人間性の育成と、未来への展望をもつ人間としての成長をめざし、校内放送をメディアリテラシーの実践として位置づけ、情報発信としての放送活動の発展をはかる。
- 実施部門 (1) アナウンス部門
(2) 朗読部門
(3) ラジオドキュメント部門
(4) テレビドキュメント部門
(5) 創作ラジオドラマ部門
(6) 創作テレビドラマ部門
(7) 校内放送研究発表
- 参加資格 (1) 2019年4月現在、以下の学校に在籍中の生徒およびその作品であること。
・高等学校、特別支援学校高等部、高等専門学校（第3年次まで）、
・専修学校および各種学校（修業年限が高等学校と一致していること）
(2) 山梨県高等学校文化連盟放送専門部へ分担金を納めていること。
(3) 番組制作の各部門は、高校生のオリジナル・創作に限る。また他のコンテスト・コンクール等に参
加した作品およびそれを改変した作品の参加は認められない。
(4) アナウンス部門・朗読部門の両方に、同一の生徒がエントリーすることはできない。
(5) 参加校の顧問は、コンテストの審査・運営に携わることを条件とする。
- 日時 2019年 6月 14日（金） 13:00～17:00
創作ドラマ（ラジオ・テレビ）部門 非公開審査
※NHK甲府放送局にて、NHK審査員・外部審査員・顧問審査員にて審査（NHK杯担当立ち会い）
- 2019年 6月15日（土） 公開審査及び創作ドラマ部門公開
8:45～ 9:00 -----出場者（校）受付
8:55～ 9:10 -----審査員・運営員打ち合わせ
9:00～ 9:20 -----出場生徒へ大会実施概要説明・諸注意、開会式
9:25～15:00 -----各部門コンテスト
15:00～15:30 -----表彰式
15:40～16:50 -----研究講座（全体作品講評および指導）・終了後解散
- 場所 山梨市民会館 山梨市万力1830（TEL. 0553-20-1199）
※6/14(金)非公開審査は、NHK甲府放送局にて行います。非公開ですので観覧等はできません。
- 参加規定 2019年度NHK杯全国高等学校放送コンテスト山梨県大会実施要領による。
- 照会先 NHK杯全国高等学校放送コンテスト山梨県大会担当
山梨県立日川高等学校 放送部顧問 宮久保純子
〒405-0025 山梨市一町田中 1062
TEL: 0553(22)2321 FAX: 0553(22)7121
E-mail: miyakubo@kai.ed.jp

第66回NHK杯全国高校放送コンテスト山梨県大会実施要領

詳細日程 2019年 6月 14日(金) 13:00~17:00 創作ドラマ(ラジオ・テレビ)部門非公開審査
※NHK 甲府放送局にて、NHK 審査員・顧問審査員にて審査(NHK 杯担当立ち会い)

2019年 6月15日(土) 公開審査及び創作ドラマ部門公開

8:45~ 9:00 -----出場者(校)受付(会場外特設受付にて。受付後は速やかに開会式会場へ)
8:55~ 9:10 -----各部門審査員・運営員打ち合わせ
9:00~ 9:15 -----出場生徒へ大会実施概要説明・諸注意等
9:15~ 9:20 -----開会式(部会長挨拶・審査員紹介)
9:25~ -----各部門コンテスト開始(各部門で、切りのいいところで昼食・休憩)
12:00(予定) -----アナウンス部門予選終了・全出場者へ決勝課題原稿配布
12:50(予定) -----アナウンス部門決勝進出者発表(13:00決勝点呼(予定))
13:00(予定) -----朗読部門予選終了・全出場者へ決勝課題原稿配布
13:50(予定) -----朗読部門決勝進出者発表(14:00決勝点呼(予定))
~14:30 -----コンテスト全部門終了
15:00~15:30 -----表彰式
15:40~16:50 -----研究講座(全体作品講評および指導)
16:00~ -----顧問:全国大会出場者手続き(事務局)
16:50 -----完全退館(皆様のご協力をお願いいたします。)

審査員 各部門とも、NHK関係者1 県教委等1 顧問1 計3

実施部門およびエントリー数 (*詳細は「校内放送研究 NO.178 (2019.3)」を参照。熟読してください。)

- 1 アナウンス部門: **3名** 1分10秒~1分30秒以内。自校の校内放送に使用する内容とし、原稿は生徒が自作したものに限り。他のコンクールに参加した作品の手直しなどでの出場は認めない。
校名は読まない。エントリー番号・氏名を言い、ニュースを読む。**決勝は、別に課題あり。**
- 2 朗読部門: **3名** 指定作品より1つ選び、**1分30秒~2分以内**で朗読する。
 - ・朗読のはじめに、番号、氏名、朗読指定作品の著者名、書名を読む。これも規定時間を含む。
 - ・抽出箇所の開始ページを記入する。抽出は必ず文頭から開始、文末で終了する。
詳細は全国大会規定(「校内放送研究 NO.178 (2019.3)」掲載)を確認のこと。

*アナウンス部門・朗読部門共に、入賞者の決定は、一次予選及び決勝の得点を合算して行う。

- ・一次予選-----個人の原稿のみをアナウンス・朗読する。(10名程度が決勝へ)
- ・決勝-----当日与えられる課題のみをアナウンス・朗読する。(上位6名が入賞)

3 番組部門: ①ラジオドキュメント・1本

6分30秒~7分以内。CD-Rに、CD-DA形式(音楽CD形式と同じ)で録音する。

- ・作品の最後に「制作は〇〇高等学校放送部(等)でした」というクレジットコールを入れる。
- ・クレジットコールに音声を重ねてはならない。ドルビー等使用不可。

②テレビドキュメント・1本

7分30秒~8分以内。

DVD-RにDVD-VIDEO形式(NTSC規格、アスペクト比16:9)で作成。

- ・作品の最後に「制作:〇〇高等学校放送部(委員会等)」のクレジットタイトルを入れる。(計時に含む。映像等が重なっても良い。)
- ・番組の前後に、**5秒ずつ(様式3)のテストパターン(カラー)**を入れる。(計時に含まず。)
- ・テストパターン改変不可。また映像・音声が重ならないよう注意。

③創作ラジオドラマ・1本

④創作テレビドラマ・1本

- ・ともに時間は8分以内。出演者は自校生徒に限る。
- ・脚本は参加資格を有する自校生徒のオリジナル作品のみ。文芸作品等からの脚色・改変不可。
- ・作品（CD・DVD）の仕上げは、ドキュメント部門と同様。

- 4 校内放送研究発表： コンテスト形式ではなく発表会で、2校まで全国大会に参加できる。
但し、2校を超える出場があった場合は、審査員の合議により全国大会への派遣校を決定する。

原稿用紙・CUEシート・レーベル印刷 すべてコンテストホームページからダウンロードして使用。
CDまたはDVDは、指定のラベル（タイトル・学校名を記入）を印刷する。
「URL : <http://www.nhk-sc.or.jp/kyoiku/>」 ※見本の拡大コピー不可
※仕上げは、別紙添付資料または「校内放送研究NO,178(2019.3)」に従ってください。

注意事項

1. どの部門も、応募にあたっては必ず「校内放送研究No, **178(2019.3)**」を熟読のこと。
2. 制限時間は必ず守る。**(規定時間範囲外は即失格)**
エントリー番号は、全国大会用なので空欄。 なお県大会の番号は当日受付にてエントリー表配布・確認。
3. 番組部門では機器の操作は担当運営員が行う。**代表生徒の立ち会いは、特に強制はしない。**
4. 著作権に関しては、各学校で処理**(様式2-4)**。BGMやSE等は、極力著作権フリー（コンテスト委員会監修）のものや、自作が望ましい。**様式2-3の一覧表は、著作権フリー・自作・フリーでない著作物、その他すべてを記入して添付する。著作物（BGM・SE・その他）を使用しなかった場合も「著作物使用無し」と記入し必ず添付。**
5. 「**Arky**(放送コンテスト委員会監修)」「**E X**インダストリー」「**エンドレスエコー**」「**サウンドファクトリー**」の音源CDおよび「**NHKクリエイティブ・ライブラリー**」については著作権（含・隣接権）処理不要。これら以外で、著作権フリーの素材を使用する場合はジャケットのコピーなど、フリーであることが証明できるものを添付すること。フリー素材を謳っていても、NHK杯では作品の著作権保持が作成校とNHKになるため、使用できないものがあるので注意。(使用不可素材追加があった場合は、その都度連絡します。)
Web上で配信されている楽曲等の使用については、禁止。
6. 著作権処理が必要な音源・映像等については各校で事前に処理し、一般の手続きを終えた後、そのコピーを台本に添付する。**著作権処理がされていない作品は「失格」となる。**
7. 番組制作に当たっては、番組に登場する出演者・協力して頂いた方々などに放送のための了解を確実に得る。
(例：出演者や協力者、イベント主催者等⇒様式2-5、インタビュー回答者等⇒「ご協力のお願い」)
8. **締切り時刻を過ぎて提出されたものは、オープン参加となる。**(大会当日の状況によっては発表できない場合有り)
また、提出後の原稿の差し替えは受け付けない。
9. 全部門を公開とする。各校とも放送部の活動の参考になるよう、全部員の参加を推奨する。
10. 規定その他わからないこと疑問に思った点は、**富士河口湖高校・川手里佳(全国大会運営員)**へ質問のこと。
直接、全国大会事務局へ問い合わせはしない。
11. 本大会は、**保護者・放送部OB等を含め、関係者以外のはご遠慮**いただいております。
12. この大会は、全国大会への選考も兼ねる。諸般の事情により、全国大会への出場を希望しない、または危ぶまれる場合は事前に申告すること。この場合、得点は参考得点とし順位は付けない。

提出物および締切り ※提出にあたっては、規定を確認し、且つ権利処理完了を確認してください。赤本P32参照

- 1) 台本（アナウンス・朗読原稿、番組CUEシート） 各4部（権利処理書類含む） ※ホチキス留め箇所注意。
- 2) 番組作品（CD、DVD）、発表用とバックアップの 計2枚（それぞれの番組部門に付き）

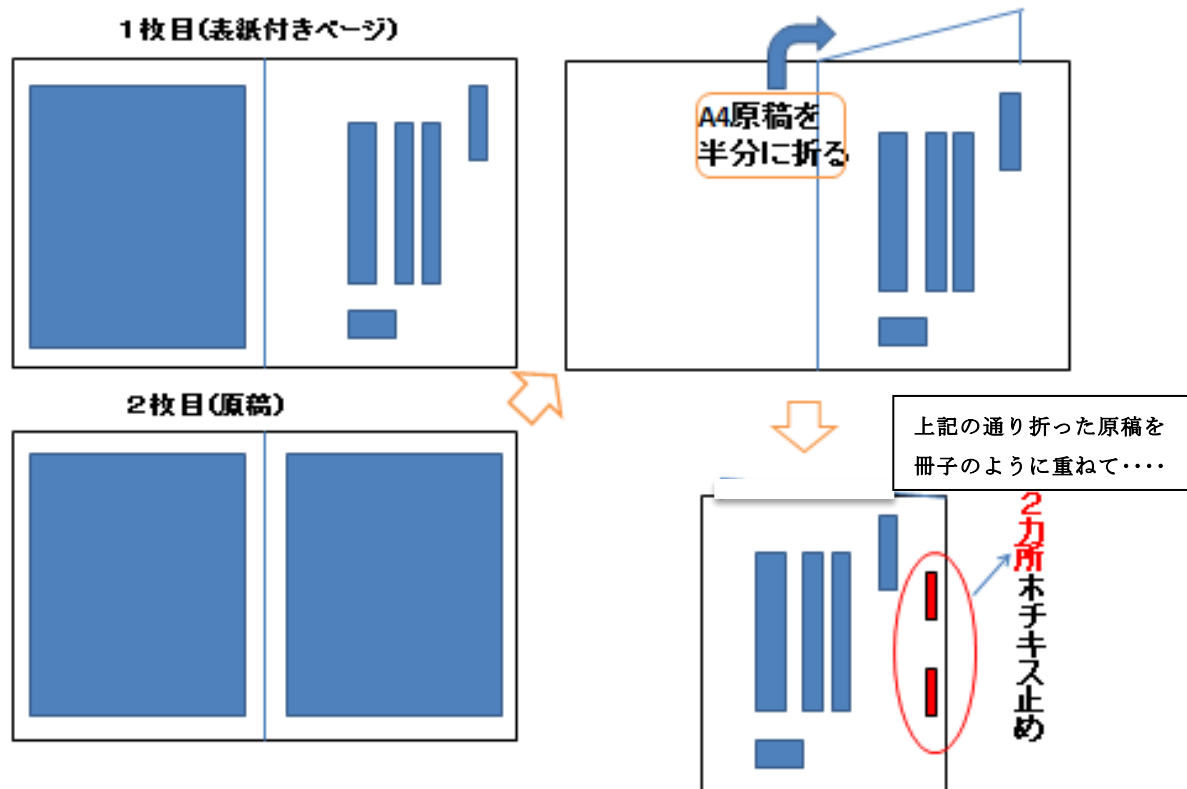
締切り : **参加申し込み（参加申込書をメールで送信） 6月6日(木)16:00(午後4時)**
作品(作品、台本・原稿それぞれ4部) 6月7日(金)16:00(午後4時) 時間厳守
※メールにて申し込まれた作品以外は受け付けない。

提出先 : 〒406-0031 笛吹市石和町市部3 県立笛吹高校 放送部顧問 剣持 芳江 宛
連絡先 : TEL 055(262)2135 FAX 055(262)6381 e-mail: yoshiek@kai.ed.jp

※事務局の先生方には、準備その他でご協力をお願いします。

<別紙資料>

◎アナウンス・朗読原稿の製本



◎CUEシート

CUEシート冊子の完成

- ①番組進行表 表紙
- ②CUEシート
- ③使用著作物一覧表
- ④使用著作物許諾書

※左上一カ所をホチキス止め

↓
完成

番組進行表 表紙

確認欄